



獨協医科大学公衆衛生学講座疫学班研究室配属

Vol. 5

Bird G News

2024年2月28日

発行人：阿部

地域交流イベント

「クリスマスコンサート2023」開催！

12月3日（日）10:30～獨協医科大学研修会議棟で地域交流イベントとしてクリスマスコンサートを開催しました。

今年度は講座として初めて、地域の皆さんと楽しめるクリスマスコンサートを企画しました。演出には壬生少年少女合唱団の菊川先生に全面的に協力していただき、合唱団の子供達に加え、栃木県出身のプロの演奏家の方々にも参加していただき、なじみのあるクリスマスソングの数々を披露していただきました。会場には子供からお年寄りまで60人近くの住民の皆さんにお越しいただき、子供たちのかわいらしい歌声と素晴らしい演奏に、顔をほころばせていました。参加者の方からは、「素晴らしい演奏の数々ありがとうございました。もっと多くの方々に広めていただきたいと思いました。」や「合唱あり、演奏あり、楽しい時間でした。子供たちの笑顔がステキでした。」などの感想をいただき大好評でした。



このコンサートを通して、会場が温かい空気に包まれ、皆さんが癒され、元気づけられたことは、何より音楽が持つ力のおかげだと感じました。また、この企画に賛同していただき、この日のために一生懸命練習してくれた合唱団の子供達、菊川先生には本当に感謝しかありません。町のみんなで町のみんなを元気にする、そんなイベントとなったのではないのでしょうか。このようなイベントはまちの健康にも寄与します。講座として今後もこのような活動を住民の皆さんと一緒にやっていければと思います。

イベント参加学生感想

今回のイベントには4年生メンバーの2人（太田さん、野々山君）と看護学部1年生2人（大山さん、数原さん）が手伝いしてくれました。ありがとうございました。Bird-Gメンバーの4年生2人に今回参加した感想をききましたよ。



今回、私はクリスマスコンサートの準備のお手伝いとして、イベントに参加させていただきました。地域の子どもたちと関わるのは初めてで、新鮮でワクワクしつつも、少し緊張もしていました。みんなで協力して会場設営を進める中で、率先して手伝ってくれる子や、「ありがとう」と声をかけてくれる子もおり、ほっこりとしながら準備ができたのは良い思い出です。コンサートでは、子どもたちのパワフルで可愛らしい歌声から元気を貰いました。また音楽家の方の、美しい演奏は会場全体を包み込み、歌声は身体に染み渡るようで、圧巻でした。私自身も合唱が大好きなので、来年は一緒に歌うことができたら素敵だなと想像してしまいました。

このようなイベントは地域の人々のつながりを強固にする大切な機会です。特に音楽は人と人をつなぐ“架け橋”になると強く感じます。地域との関わりを深め、1学生として「みんなで壬生町をより良い場所にしていくためにどうしたらよいか」を考え続けていきたいと思っています。（4年 太田）

医学部4年の野々山陽仁です。12月3日に研修棟2階で行われた、壬生少年少女合唱団のクリスマスコンサートにボランティアとして参加したのでその様子をお伝えしたいと思います。壬生少年少女合唱団は壬生町で30年以上の歴史がある子ども合唱団で幅広い年代の子どもたちが参加しており、チャリティーコンサートとして行われました。クリスマスに関わる曲を中心に行われ、弦楽器の演奏は音大出身のプロの方々が行うという本格的なクリスマス会でした。子どもたちが元気に歌う姿を見て、外は冬の始まりで寒さが増してきている中、心はあったかくなったイベントでした。ちょうどこの文章を書いている日はクリスマスです。子どもたちに素敵なプレゼントが届くように願いつつ文章を締めさせていただきたいと思っています。（4年 野々山）

壬生町社会福祉協議会訪問

12月25日（月）イベントで集まった寄付をメンバーとともに社会福祉協議会に届けました。

壬生町社会福祉協議会では、生活に困窮している住民の方への食糧支援として、フードサポーター事業を行っています。緊急的に生活費が不足し支援が必要な方に対し、住民の方々から寄付していただいた食料品等を提供し、生活維持を図ることを目的とした事業です。今回私たちは、この事業に協力し、11月と12月のイベントで参加者の方々に食品の寄付を呼びかけました。おかげさまで、2日間のイベントでは多くの方々にご協力いただき、パスタやそばなどの乾麺や、油や醤油、砂糖などの調味料まで多くの食品を届けることができました。訪問には、イベントに協力してくれたメンバーの石渡さん、能登君、野々山君と一緒にいって行ってきました。



Table with donation details for the Nishinaka Social Welfare Association and Japan Red Cross Society. Includes columns for donor names, amounts, and dates. Total amount for the association is 697,871 yen.

寄付については社協だより2月号にも掲載されています。

編集後記：イベント盛りだくさんでワイワイしていた年末から年が明け、少し落ち着いていますがみなさん元気ですか。寒かったり暑かったり変な天気が続いてますが、新たな学年が始まる春ももうすぐです。春を楽しみに、もう少し頑張りましょう。